

連携パスだより ~がん地域連携パス編~ NO. 6



紅葉の季節を迎え、先生方には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。当院での乳がん地域連携パス運用に関して、いつもご指導を賜り、誠にありがとうございます。

さて、今年も松江保健所で乳がんパス検討会が開催されました。そこで『生活習慣病対応パスに関するアンケート調査報告』『連携医療機関からの紹介状の書式検討』『平成26年度勉強会』などについて話しあいました。検討事項について報告します。

松江圏域乳がん地域クリティカルパスに関するアンケート報告

松江赤十字病院乳腺外科 曳野 肇

平成23年4月～24年12月の間、75名の患者で連携パスを運用しました。全例女性で、平均年齢は61.3歳(39～90歳)、施設別件数では31診療所に60名、7病院に15名という割合でした。

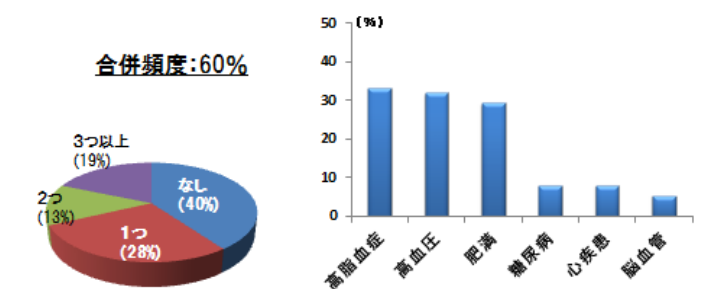
その患者群では、同時に生活習慣病を合併している割合が60%と高い状況でした。高脂血症、高血圧、肥満は約3割の患者さんが合併していました。

パスを運用している患者さんは早期乳がんであり、がんサバイバーとしての合併症の管理が重要です。また、運動、肥満、食事などが術後乳がんの予後と関係するというデータも示されています。そのため連携パスを運用する際に、生活習慣病に対する対応も必要と考えました。

術後ホルモン治療パス運用患者における生活習慣病の合併

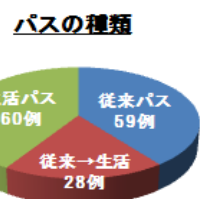
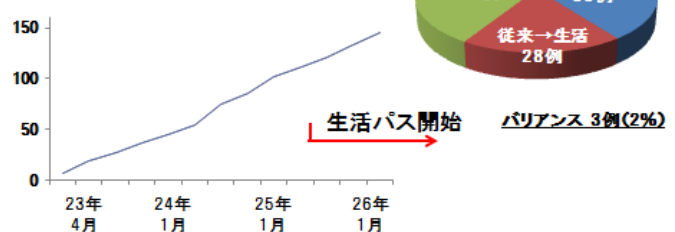
平成23年4月～24年12月  
全例女性 75名  
平均年齢 61.3歳(39～90歳)

合併頻度:60%



連携パスの推移と内容(松江赤十字病院)

連携患者数の推移  
平成23年4月～26年7月  
全例女性 147名  
平均年齢 61.3歳(39～90歳)



これに対し、松江圏域がん対策推進協議会、がん診療連携検討会の乳がんチームで協議した結果、「生活習慣病対応パス(以下生活パス)」を導入することになりました。生活パスでは従来のアウトカムに加え、「生活習慣病を予防または悪化を防ぎましょう」というアウトカムを追加し、体重、血圧、血糖、HbA1c、LDL コレステロール、中性脂肪などにおいて、連携医と患者さんと、「わたしの目標」を相談・設定してもらうこととしました。そして、平成25年2月からこの「生活パス」の運用を開始しました。平成23年4月から平成26年7月までの147名の連携患者さんのなかで途中移行例も含め、2/3の患者さんで「生活パス」を運用しました。

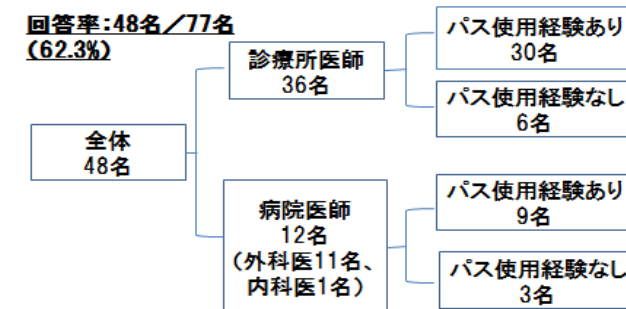
今後病診連携において「生活パス」が有効であるかを検討するために、平成26年6月に連携医療機関の先生方を対象としてアンケートを実施しました。

アンケートは連携の登録をいただいている、あるいは連携を実際に運用していただいている77名の先生方に郵送し、無記名で回収いたしました。48名のご回答があり、回答率は62.3%でした。

パス使用経験のある39名で、「生活パス」が「有用」と答えた方と、「有用でない」「どちらともいえない」と答えた方が半々でした。しかし「生活パス」を使用した連携医に限ってみますと、9割の方が「有用」と答えており、「生活パス」が支持を受けていると考えられました。「有用」だと思われる理由としては、「連携患者の生活習慣病の予防や治療に役立つ」、

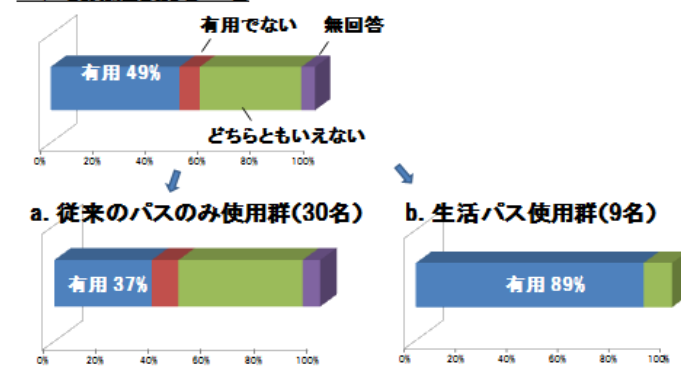
アンケート結果 所属およびパス使用経験別割合

回答率:48名/77名 (62.3%)



アンケート結果 生活習慣病対応パスの評価

パス使用経験ある39名



アンケート結果 生活習慣病対応パスの評価

有用だと思う理由

- 連携患者の生活習慣病の予防や治療に役立つ 15
- 連携患者に対する連携医としての役割が明確になる 10
- 連携患者の診療に積極的に関わられる 6
- 連携パスの意義が深まる 6

有用でない理由

- 項目を挙げなくても十分に管理できる 2
- 継続するには負担が多い 1

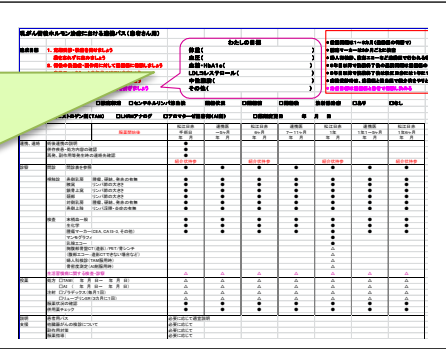
「連携患者に対する連携医としての役割が明確になる」というご意見を多くいただきました。一方「有用でない」理由としては、「項目を挙げなくても十分に管理できる」などのご意見がありました。

今後の課題としては、多くの連携医の先生に「生活パス」の主旨をご理解いただきご協力を得る事、そして「生活パス」により生活習慣病の発生や増悪が抑えられているか検証することだと考えています。乳がんを罹患された患者さんが明るく健康に過ごされるように、連携医の先生方からご意見をいただきながら、乳がん地域連携パスをさらに発展させていきたいと思っております。

これからも乳がん地域連携パスに対するご協力をよろしくお願い申し上げます。

**わたしの目標**

体重( )
血圧( )
血糖・HbA1c( )
LDLコレステロール( )
中性脂肪( )
その他( )



患者さんをご相談の上『わたしの目標』の設定をお願いします。患者さんの日々の自己管理の指標となると思います。

紹介状書式検討について

がん地域連携クリティカルパスは、患者さんと医療機関が治療計画と目標を共有し、より効率的な診療を可能とするツールで、がん地域拠点病院と連携医の先生方が「診療情報提供書」と「私のカルテ」で情報共有を行っています。連携医療機関の診療情報は、連携パスの継続のために重要な情報となりますので、予定の松江赤十字病院の受診前、あるいは必要時には情報提供書の記載をお願いいたします。当院からも患者さんに、貴院受診時に次回の当院受診日を伝えていただくことを

お願いしています。また、算定可能な病院では、『がん治療連携指導料 300 点』が算定できますのでご利用ください。

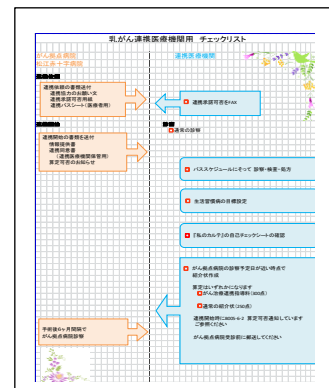
連携医療機関から紹介状書式検討の提案があり、パス検討会で協議しました。別添で紹介状の書式を同封します。チェック式となっており、診療のお手間を省けるものと思います。もちろん、今までの紹介状をお使いいただいても構いません。ご利用をご検討下さい。

必要な場合はメール配信します。ご連絡ください



まめネットの有効活用も、今後課題となりそうです。

連携医療機関とがん拠点病院で円滑に医療が提供できるように、チェックリストを作成しました。別添資料を同封しています。よろしければ、ご利用ください。



平成 26 年度勉強会開催

平成 26 年度勉強会を開催します。先日のパスアンケートでご提案していただいた事案を参考に勉強会内容を検討しています。

**平成 27 年 1 月 29 日 松江赤十字病院 本館 6 階講堂 で開催予定です。**

詳細は決まり次第、連絡いたします。先生方はもちろん、多職種の方々のご参加もお待ちしています。